

みんなのちから

4月1日(土) ~ 4月5日(火)

IN 兵庫県立南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	仲間作りゲーム オリエンテーション	研修①「リーダーとは？」
2日目	研修②「朝食づくり」 研修③「野外炊飯」	研修④「工作」	研修⑥「キャンプファイア」
3日目	ソロタイム	ソロタイム発表	研修⑦「キャンプファイア」
4日目	研修⑧「棒焼きパン」 最終確認	まるかじりメンバー合流 レクリエーション	工作
5日目	棒焼きパン 野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンドルファイア
6日目	清掃 思い出工作	施設を出発 解散式	

一日目： 今年は8名の熱い思いを持ったメンバーと一緒に5泊6日という長い期間過ごします。尼崎にて全体集合した後、電車にて目的地の「竹田駅」へ向かいました。初めは知り合っている方と話をしているだけでしたが、徐々にはじめましての方とも会話が増え、道中終盤には誰とでも話している様子でした。目的地の駅に到着し、昼食を済ませ、アイスブレイクを兼ねて「他己紹介」を行いました。ペアを組み、相手にたくさん質問し、色々な話を聞き、それをもとに友達の紹介をします。初めは何を聞けばいいのか分からず、出身地や好きなものなどを聞かれていましたが、関係が出来てくると何故そうなのか？と少し踏み込んだ話をされていました。施設に到着し、他己紹介の発表です。聞いていた事をいざ話すとなるとなかなか出てきませんが、それでもペアから聞いた話を一生懸命に話されていました。他己紹介も終わり、メンバー同士の関係も築けてきたので、ここからは沢山の研修を経て、本番に臨んでいただきます。まず、課題解決ゲームを行いました。ゲームを3種類行いました。徐々に難易度が高くなるので、自然と会話や意見が出てきました。また友達の意見を聞く姿勢も感じられました。レクリエーションの後は生活棟へ向かい、この施設の使い方やお風呂について、布団の敷き方などを学びました。ジュニアリーダー（以下ジュニアと呼称）として学ぶ時は目つきが真剣で、自主的にメモを取っている様子が伺えました。雨天だった為、夜は予定を変更して座学を行いました。内容としては、「リーダーって？」について議論していただきました。なかなか意見が出てきませんでしたが、少しずつ思いが出てきて、それに耳を傾け、それをもとに話を展開させている様子が見られました。明日は実技を主に活動展開させていきます。

二日目： 朝食を済ませた後、「野外炊飯」について座学を行いました。『野外炊飯ってなんですか？』という疑問から入り、具体的な作り方や道具の説明、気を付けるポイントなどの説明など細かく行いました。座学が終わるとそれをもとに実技に入ります。グループに分かれ、実際にカレーを作りました。本番をイメージしながら作られているので、水の加減や野菜の切り方、火付けの方法など細かく話し合いながら進めておられました。完成したカレーについて思っていたカレーと比べてどうか、グループで食べながら検討を行いました。片付けをし、生活棟へ戻ると次は「工作」の研修です。道具の説明、使い方、行程の説明を聞き実際に作るのですが、今回はロールプレイング形式で行いました。リーダーとしての立ち位置から何を伝えないといけないのか、どこに目を向けないといけないのか、注意するポイントなどが見えてきたようです。夜はキャンプファイアの出し物についてペアや担当を決め、何をするか各自考えていただきました。本番は全てジュニアにさせていただくので、既に緊張されている様子も伺えました。徐々に緊張も出てきています。



三日目： 昨日の実技研修に対して、3日目はリーダーとして必要な『心の研修』を行います。午前中になぜジュニアリーダーになろうと思ったのかをじっくり考えていただき、午後はそれを発表していただきます。部屋でゆっくり過ごしながらこれまでの自分を思い出したり、心を集中させるために本を読んでから考えたり、屋外で暖かい日差しのもとで振り返ったりして、それぞれ自分にとって一番落ち着く姿勢をとり、時間を過ごしました。昼食を挟み、発表の時間です。今まで一番印象に残っている活動、嬉しかったこと、悲しかったこと、思い出に残っているリーダーや大人、一人一人アプローチ方法は異なりましたが、「ジュニアになろうと思った理由」を話していただきました。緊張のあまり、泣いてしまう方もおられました。途中で話すことが飛んで何を伝えればいいのか分からなくなってしまう場面もありました。それでも心の内をしっかりと話されている姿がありました。夕食後、昨日話し合ったキャンプファイアの予行練習を行いました。あまり話し合いが出来ておらず、途中で止まったり、内容が困惑したりしました。夜の振り返りでは、明日からのキャンプに向けてもっと深く考え、危機感を持っていただくための話をしました。どこか余裕の様子を見せていましたが、話し合いの後は緊張を持った表情でした。



四日目： 今日からまるかじりメンバー（以下メンバーと呼称）が来られるので、朝から緊張をされており、今までにない手際の良さを出されていました。しかし、時間に対してまだ意識が低く、朝食の予定が大幅に遅れてしまいました。朝食後、メンバーが到着するまでキャンプファイアのリハーサルを行いました。どの演目も昨夜から改善されていました。リハーサルが終わったちょうどこの時間にメンバーが到着しました。昼食をいただいている横でメンバーが楽しそうに遊んでいる様子を見て、ジュニア達の緊張は頂点に達していました。昼食後ついに「まるかじりツアー」がスタートしました。まずはみんなの前で自己紹介です。あまりの緊張に声が震えている方もおられました。それぞれグループ発表を行い、グループに分かれました。メンバーはとにかく元気でなかなかまとまってくれずジュニア達は困惑されていました。しかし、レクリエーションを通して、緊張も徐々にほぐれていき、自然と会話されている様子が伺えました。生活棟へ向かい、オリエンテーションの後、各部屋で入浴準備と布団のシーツを引く作業を行いました。今までにやってきた研修の結果を一生懸命に発揮されていました。夕食の食堂利用時も低学年のメンバーへのサポートを怠らずされている姿がありました。この頃には緊張も解け、楽しそうに会話をされている姿が見られました。夜はレクリエーション大会第二弾を行いました。リーダーとしてグループをまとめようと率先して動き、ゲーム中は自然とメンバーと一緒に笑顔で楽しまれていました。メンバーが就寝された後、グループ担当リーダーと振り返りを行いました。一日の内容を細かく振り返り、評価を受けました。この話し合いを翌日の活動に活かしていきます。



五日目： グループリーダーになって二日目の朝を迎えました。今までと違う朝に初めは少し戸惑いがありましたが、昨夜の話し合いから意識をしっかりと持ち、まるかじりメンバーを起床時間に起こし、着替え、洗面、荷物の準備を促しました。朝食は二日目に作ったサンドイッチです。作る手順は分かっているのですが、いざ本番となるとどう動けばいいのか分からず、遅れて行動されている様子が伺えました。一日目よりもメンバーに積極的に声をかけるジュニアの姿がありました。作っている最中は周りに目を向け、食事中は楽しそうに会話をされながら食べておられました。朝食後は「野外炊飯」です。作り方は事前にやっているので問題ないのですが、担当を決め、調理スタートすると、どのジュニアも目に見えて困惑されていました。メンバーは楽しい事、自分のしたい事をされるので、その動きにジュニアはどう指示を出せばいいのか分からず翻弄されていました。その中でも、包丁やピーラーなど危険な器具を使う時には必ずそばにいたり、火起こしの時に横でどうすればいいかを教えたりされていました。みんなで協力して作ったカレーを食べている時、疲れてぐったりされている姿が見受けられましたが、反



面とても嬉しそうにされている表情も伺えました。片付けも高学年のメンバーには的確な指示を出し、低学年のメンバーと一緒に洗い物をされていました。片付けは思った以上に早く終える事が出来ました。野外炊飯後、一旦グループから離れ、体を休めると共に自分たちの動きを振り返っていただきました。まだまだ自分に不服に感じているようで、夜のプログラムに向けて、自身に気合を入れ直し、挑んでいただきました。夕食後、練習では一度も完成しなかった「キャンプファイア」です。ジュニアの表情は今までにない緊張からか、非常にこわばっておりました。キャンプファイアが始まり、それぞれの出番では予想以上に大きな声で、大胆に、笑顔で一生意気な様子を見せていました。それに感化、同調したメンバーや担当リーダーも楽しく、大いに盛り上げました。お互いが相乗効果を生み、キャンプファイアは大成功に終える事が出来ました。夜のミーティングでもその手応えをジュニアも感じており、大きな自信に繋がったと感想を述べておられました。



六日目： 疲れもピークにきていますが、最後の力を振り絞ってメンバーに元気な笑顔を見せておられました。起床後、洗面、着替え、布団の片付けを促し、メンバーを誘導されていました。朝食の棒焼きパンの作り方をメンバーに伝え、一緒に楽しそうに作っておられました。初日に比べ、作る時、焼く時も楽しそうに話しておられ、すっかりメンバーはジュニア達をリーダーとして認め、慕っておられ、食べる時もメンバーから積極的に話しかけていました。朝食後、最後のプログラム「思い出額縁づくり」を行いました。額縁まで完成しているのので、自身の作品を見本に作り方を皆に伝えておられました。この頃にはみんなにどう伝えれば話を聞いてくれるか、振り向いてくれるかなどをなんとなく分かっており、作り方の説明を上手にされていました。昼食を挟み、午後からは絵付けに入りました。ここからはジュニア達も一緒に作業を行いました。自身の事に集中するのではなく、メンバーの事を気にかけておられる様子が伺え、意識はとて高く感じました。帰る支度の際も酔い止めは飲んだ？トイレを済ませた？忘れ物はない？とメンバーに確認されていました。帰りの車内ではさすがにお疲れが溜まっていたのでしょ、休まれている姿がありました。解散時、グループのメンバーの親御さんへ活動の様子をしっかりと説明されていました。「春まるかじりツアー」が解散後、最後の振り返りです。担当のリーダーと三日目、今までについて話し合いました。そして、ジュニア認定式を行いました。ジュニアにとって一番緊張の時です。担当のリーダーから認定をいただき、無事に授与されました。長い期間、本当にお疲れ様でした。



<キャンプ総括>

ジュニアリーダーに憧れて“みんなのちから”に意気揚々と挑まれるのですが、想いと現実とは異なり、そこに悩み、考え、苦勞されている様子を毎回目にします。今回、ジュニアの方々に何度も訴えた事が『全力でやる』でした。人にはどうしても出来ない事はありますし、届かない事もあります。しかし、「全力で挑まずに自身で勝手に線引きをするな」と伝えてきました。それぞれジュニアには課題がありました。それらを日が経つにつれ、克服出来ているメンバーの姿がありました。本人達はとにかく一生懸命にされ、常に前を向いて進まれているので、気付かないうちに日に日に力が増していきました。ゆえ、それに同調してメンバー達はジュニアに付いていこうとされました。そして、メンバーに伝えようとジュニアは更に頑張ろうとされます。こうしたプラスの連鎖反応がキャンプをより良いものにしていき、それに関わる多くの人達の成長に繋げていきました。今回のキャンプを通して、ジュニアが体験したこと、学んだことはとても大きく、大切なものです。そして成長された『想い』をそのままにせず、自信を持って学校や私生活、習い事、そして活動など、何かに活かして頂きたいです。そしてまた来年更なる成長を遂げられるよう“みんなのちから”にご参加いただきたいです。 (竹中 哲郎)